

今治市教育委員会教育長 様

今治市立桜井小学校長 里本 明美

自己評価について、下記のとおり報告します。

記

1 学校の教育目標の達成状況(概要)

校訓「強く 正しく 美しく」の下、教育目標「よく学び、心豊かな児童の育成」の達成を目指し、努めてきた。学習規律を確立し、主体的・対話的で深い学びにより学力の向上を図り、授業改善や児童の良さを伸ばす教育活動に取り組んできた。

(1) 確かな学力の育成(学習の取組・姿勢、学習の定着、読書) (%)

	できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
児童	35	42	19	4
保護者	16	47	28	9
教職員	0	54	43	3

(2) 豊かな心の育成(規則の尊重、挨拶・言葉遣い、思いやり) (%)

	できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
児童	56	37	6	1
保護者	32	59	9	0
教職員	0	63	35	2

(3) 健やかな体の育成(体力の向上、望ましい食習慣、自主・自律) (%)

	できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
児童	55	28	12	4
保護者	35	46	18	2
教職員	25	68	6	0

2 主な取組の課題と改善

(1) 確かな学力の育成について

「できている」「だいたいできている」と肯定的に回答した児童の割合が77%とやや高くなっているが、保護者や教職員の割合はやや低い。特に、「できている」と回答した教職員の割合は0%と、学習内容が身に付いている実感があまり得られていない。基礎・基本の定着と読解力の向上を本校の優先課題として、授業改善や朝のドリル学習の充実を図るとともに、タブレット端末を活用した個別最適な学びをより一層進め、「誰一人取り残されない学び」を実現していきたい。また、読書離れが心配されるため、児童が読みたくなる図書の整備や電子書籍(中央図書館)の推奨などを通して、児童の自主的・自発的な読書活動を促していきたい。

(2) 豊かな心の育成について

肯定的に回答した割合が、児童93%、保護者91%と高くなっている。しかし、教職員の自己評価では、挨拶・言葉遣いの項目が他の項目に比べ低い。保護者からも、「登下校時、子どもから挨拶が返ってこない。」などの記述が複数あった。気持ちの良い挨拶を習慣化するため、校舎や教室の入り口で「朝の挨拶」を徹底するとともに、挨拶の仕方や場面を具体的に指導していく。そして何より、教職員や高学年児童が率先して行う姿を示すことで、学校全体に挨拶の輪を広げていきたい。また、場に応じた言葉遣いについては、全ての教職員が共通認識の下、適宜指導を重ねていく。これらの習慣化を図るため、家庭や地域にも協力を促し、連携して取り組んでいきたい。

(3) 健やかな体の育成について

肯定的に回答した割合が、児童83%、保護者81%、教職員93%と高くなっている。課外活動(相撲、水泳、陸上、駅伝)や体力づくり運動(持久走タイムやなわとびタイム)で体力の向上に取り組むことができた。昼休みには、児童と共に体を動かす教職員も増えている。望ましい食習慣については、昨年度より肯定的な割合が増えており、食育指導の成果が上がっている。偏食が目立つ児童も一定数いるが、過度な完食指導は行わず、引き続き、栄養教諭や養護教諭と連携を取りながら対策を講じていきたい。

3 その他

保護者の学校への評価は、おおむね良好である。今後も、保護者の意見に対して丁寧に耳を傾け、教職員一人一人の良さを発揮しつつ組織力向上を図り、教育活動の充実に努めていきたい。業務改善については、Google クラウドの積極的活用(職員会資料の電子化、教材の共有)、行事の見直し・精選、課外活動の練習日削減(週3回)、全教職員18時退勤の推奨(水曜日)など、意識統一をして取り組んでいる。